



懐かしくて、温かい。



軒先に七夕人形を吊るし、子どもたちの健やかなる成長を願って飾られる夏の風物詩。家族の行事はもとより、家の軒先、商店街や公共施設など、あちこちに七夕人形が吊るされます。

長野・松本地方

七夕(月遅れの毎月8月)に「七夕人形」を吊るす風習があり、一般的には紙製や木製の人形に着物を作って着せます。江戸時代より続く重要有形民俗文化財です。



日本の夏。

伝統的な涼み方ともてなし方+省エネ

「打ち水」



日本では、訪問客が来る前に玄関先で打ち水をする風習がありました。それはもてなしやお清めの意味もあるためです。打ち水が行われた後の風景は、見た目にも清涼感がありますね。

打ち水する時間帯にもご注意を。

気温が上がっていない朝や

気温が下がり始める夕方がおすすです。

朝方の打ち水は午前中のエアコンの使用頻度を下げ、夕方の打ち水は夜の暑さを和らげます。

さらに、打ち水の際は、できるだけ水道水ではなく二次使用の水を。



を

MONOWO TAISETSUNI SIYOU SHINBUN

「物」の先には「事」がある。事の先には「つながり」がある。

あり余っているから、すぐお金で買えるから、いつでもどこにでも捨てられるから。

そんな社会と暮らしが、本当に望んだものなのか、快適なのか。

疑おう。それには、きちんとして、わかりやすく一流の物差しがいる。

その物差しは、風土と季節、文化的、伝統的がいい。

みんなに共通で、しかも変わることがないから。日本人なら毎日の生活の中で使いこなせるから。

大切にしよう新聞

2018.7
JULY



を食す幸せ

海に囲まれた日本だから
今月もどこかで旬三昧



旬は、禁猟明けから8月頃まで



特に7月の若鮎が骨も柔らかく美味。鮎づくしの料理と酒、そして屋形船……極上の癒やしを楽しむのなら「鵜飼」へ。

鮎は釣り上げたところの河原で枯木を燃やして、それを囲むように、長い竹串に刺し、水気を拭き取って塩を振り、頭を下にして土に突き刺し、焼けたところを横へ回して次々と四面を焼きます。そのあたりに自生している蓼の葉をむしり取り、搗鉢でよく摺り、酢を混ぜ入れ、それへ焼きたての鮎を浸しつつ味わいます。(「食味」辻嘉一)

行き先はネットの人気ランキングもご参考に。

(好みにもよりますが、産卵前の落ちアユを子持ちで美味しいという方も多いようです)

「住まいのこんなところ“もったいない”と思いませんか？」

豊かさがごく普通になった時代。いろんな物が手軽に買えるようになったけど、「もったいない」「物を大切にしよう」という想いは忘れたくない。そんな想いを住まいにあてはめてみたら・・・。

「住まいが30年しかもたないなんて もったいない」 外壁編

日本の住宅は寿命30年と言われているのをご存知ですか。住宅ローンで35年の返済が認められているのであれば、少なくとも50年くらいは資産価値が残ってほしいものです。そこで、住宅の資産価値を長く維持するために、住まいの保全リフォームを考えてみませんか。修繕ともいいますが、住まいを長持ちさせるための対策です。

まずは外壁から。
最近の外壁は「サイディング」という材料を使用します。



この材料自体は30年といわずまだまだ長い耐用年数があるのですが、このサイディングに使われている「シーリング」という防水材の耐用年数が7年～10年と短いのです。



(シーリングをチェック)

コーキングとも呼ばれるこの「シーリング」は、サイディングとサイディングの隙間を埋める材料で、雨水の浸入を阻止するものです。シーリングがダメになると台風の時雨水が外壁の中に浸入してくる可能性が出てきますので住まいの寿命を延ばす大切な材料です。



(修繕)



(完了)

新築して10年以上経った住まいにお住まいの方は、マイホームを建てた会社か、お近くの住宅会社に相談されることをお奨めします。

偉人たちは「物」となって 未来永劫、愛される。

銅像や石像は名所だからあるのか、有名だからあるのか、いやその精神を引き継ぐから、あるのである。

所変われば品変わる どうだ！これが銅像だ！

世界で最も高い像



土台の高さも含まれば153m。総重量は1000トンの魯山大仏。(中国、魯山県)



ちなみに魯山大仏の足。

とにかく必要以上にデカく、金ピカ。



ミャンマーのレイチュンセツチャー大仏さま。約12年の歳月をかけて建立されました。



この世を憂いておられるかのような表情。

ヨーロッパ系は銅像というよりオブジェ感覚



死んだ馬に乗る神聖ローマ帝国皇帝ベンツェスラウス(プラハ、チェコ)



名も知らぬ通行人(ヴロツワフ、ポーランド)

アジア系は堅苦しい宗教系に傑作(?),ヨーロッパ系は自由な発想のアート感覚に傑作(!)が見られます。

多彩に花咲いていた 戦後昭和のファッション・メモリアル



ファッションの流れをたどれば「ああ、懐かしい」という感慨だけでなく、それはあなたのオシャレの足跡にぴったり合致するかも。「衣装はおんなの命」。思い出のお洋服や小物たちを、いつまでもあなたのお傍に。

1967年パンタロン登場。全盛時代を迎える

裾が広がったズボンは平成生まれなら「ベルボトム」。パンタロンなんて呼び名すら知らない人がいるのが今の時代。パンタロンは膝あたりからいきなりフレアスカートのように裾が広がり、今の時代のベルボトムと比較するとかなり印象が強いデザインで、1970年にかけて大流行。当時の人気スタイルは厚底の靴とパンタロン。



ビートルズが教えてくれた

1960年にザ・ビートルズ結成、1962年10月5日レコードデビュー。10年にも満たない活動の中でその輝きは今も色褪せないのはなぜ？代表曲の詩を読む事で、その意味を少しでも探れればと、ご紹介。



1966年8月に発表した7枚目のアルバム「Revolver」複雑化したサウンドが主流となって、スタジオ音声をステージで再現する事は不可能に。1966年のコンサートでは本作品からの曲は披露されず、以後ビートルズはコンサートツアーを停止した。

Eleanor Rigby / エリナー・リグビー

ごらんよ あんなにも さみしい人たちを
エリナー・リグビー 結婚式の後で米を拾うだけ
おしろいつけた顔で 窓辺に立ち誰を待ってるの？
誰があの人さみしくさせる 身寄りもないひとりぼっち

神父さんは誰も聞かない説教だけ書いてるよ
靴下の繕いも一人でする 夜何思う？
誰があの人さみしくさせる 身寄りもないひとりぼっち

ごらんよ あんなにも さみしい人たちを
エリナー・リグビー 教会で死んだけど誰も来なかった
神父さんは墓地から泥を払いながらためいきさ
誰があの人さみしくさせる 身寄りもないひとりぼっちに

ぜひ youtube で聴きながら・・・
<https://www.youtube.com/watch?v=HuS5NuXRb5Y>